

事業概要書

事業名	松戸のイメージ向上のためのコミュニケーション事業
団体名	まつどのこもりかた。編集部
事業担当課	総合政策部 広報広聴課 シティプロモーション担当室

事業概要	
<p>松戸市にゆかりのある女性が、松戸市の魅力の人々と触れ合いながら紹介していく超地域密着型のWEBコンテンツを提供します。「まつどのこもりかた。」というホームページを構え、そこに松戸の魅力をまとめた記事を投稿します。地域の活性化と松戸への愛着を高めることを目標にします。</p>	
<p>取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）</p>	<p>松戸市の印象としてポジティブなものは「都内へのアクセスが良い」「ラーメンがおいしい」などありますが、ネガティブなものだと「治安が良くない」「女性の一人暮らしは心配」などをよく耳にします。</p> <p>2019年のSUUMOの「住みたい街ランキング」関東版では、松戸市は50位であり、近隣の柏市は33位と差をつけられています。この差は何なのかを可視化するため、国勢調査を基にした自治体を比較するサービス「生活ガイド.com」で見ると「地域交流」「愛着」の項目で大きく差をつけられています。</p> <p>また、昨今の新型コロナウイルスの影響で様々な業界が経済的ダメージを負っている中で、特に飲食業界はお店を続けられない状態になっているところも少なくありません。</p> <p>上記を課題とし、取り組みを行っていきます。</p>
<p>事業の目的</p>	<p>「地域交流」や「愛着」は、インフラ整備などの物理的な施策では解決が難しく、人の感情、心に訴えかけるようなコミュニケーション戦略が必要だと考えております。</p> <p>同時に新型コロナウイルスの影響を大きく受けている飲食店に元気を与えるため、多くの人にPRしていきたいと考えています。そこで松戸市との協働事業として本事業を取り組むことで、こうした事業者や大学との連携がしやすくなり、シティプロモーションと地域貢献の両面で双方にとって有効であることから協働で松戸の魅力を発信していくことを目的としています。</p>
<p>事業内容</p>	<p>「まつどのこもりかた。」というホームページを構え、そこに松戸の魅力をまとめた記事を投稿します。</p> <p>①飲食店だけでなく、特産物やそれ以外の松戸の魅力を紹介 1年目は飲食店を中心として紹介していましたが、2年目は特産物（梨やレモンなど）など飲食店以外の松戸の魅力を積極的に紹介していきます。 WEBコンテンツを多くの方に見ていただくために、まつどのこもりかた。公式SNSアカウントや松戸市が発信する広報媒体で発信するとともに、飲食店や市内の大学などでチラシや団体の紹介用カードを配布します。</p>

	<p>②松戸にゆかりのある女性を採用</p> <p>松戸にゆかりのある女性をメインモデルに採用し、エキストラ（その他出演者）やお店の方などとの触れ合いを見せていくことによって、「女性が安心して暮らせる」「おしゃれで楽しいライフスタイル」を表現し、治安の不安を取り除きつつ明るく楽しい街であることを訴求していきます。</p>
協働の必要性	<p>①PR 効果の最大化</p> <p>このコンテンツは松戸のイメージを向上すべく、WEB 上で運用していくものになります。これが多くの人の目に触れることでイメージ向上の目的に近づくことができると考えておりますが、SNS などの活動だけでは限界があります。よって松戸市が発信する広報媒体を活用していくとともに、「まつどやさしい暮らしラボ」をはじめとした様々な松戸市の活動と連携していくことで相乗効果を図ることができると考えております。</p> <p>②「まつどのこもりかた。」の信頼度向上</p> <p>今後の動きとして様々なところと協力してこのコンテンツを広めていく必要があります。その際に「まつどのこもりかた。」メンバーだけでは働きかけできる範囲に限度があるため、松戸市と協働することで下記のようなことが実現できると考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の大学と協力 <p>現在聖徳大学と連携を始めましたが、その他の大学ともオープンキャンパスや資料請求などで配布するものの中に「まつどのこもりかた。チラシ」を同封してもらい、大学だけでなく松戸市全体の良さも知ってもらいたいと考えています。また同時に出演いただくモデルも募集できればと考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の不動産会社と協力 <p>不動産サイトなどで松戸に興味を持ってもらった方（検索した方）に「まつどのこもりかた。」の WEB サイト情報を提供します。そうすることで松戸に住もうか検討している方への後押しができればと考えています。</p> <p>③松戸市が「市」として動きにくいところのフォロー</p> <p>松戸に根付く飲食店の紹介など、「市」として主体的に動きにくい部分を「まつどのこもりかた。編集部」が主体的に動きつつ、協働することで理想的な形で民間活力を高めていけると考えております。</p> <p>上記の3つを「協働の必要性」と考えております。</p>
事業の目標	<p>このコンテンツは「見られること」が指標になると考えています。よって公式 SNS のアカウントフォロワー数が増えることがファン獲得に繋がっていると考えているため、この数値に目標を持たせます。去年は 1,000 名が目標でしたが、現在約 900 名となっておりますので、次年度は 1,500 人を目標に活動していきます。WEB コンテンツやお店のファンを増やすことで、結果的に松戸に愛着を持ち、地域交流も生まれることを目標といたします。</p>

事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 521,700	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 80,020	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額(B)	¥ 80,020	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	
合計額(D) = (B+C)		¥ 580,020	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の 交付対象経費	報償費	¥ 180,000	モデル報酬 10,000円×12回/年 その他出演者報酬 3,000円×20人
	消耗品費	¥ 126,000	チーク、ヘアスプレー、ネイルなどの化粧品類 2,500円×12回/年 撮影対象品 5,000×12回/年 撮影備品 3,000×12回/年
	印刷製本費	¥ 34,020	お店専用チラシ印刷 10円×100枚 配布用チラシ印刷 3.1円×10,000部 紹介用カード印刷 10.1円×200部
	使用料及び賃借料	¥ 7,000	サーバー使用料 3,500円×2回/年
		¥ 1,000	ドメイン使用料 1,000円×1年
	委託費	¥ 220,000	ギャラリー増築、ページ修正などのSE委託 30,000円×4回/年 配布用・お店用チラシなどの制作物デザイン 50,000×2回
	対象経費の合計(E)		¥ 568,020
その他経費 (対象外)	食糧費	¥ 6,000	モデルお弁当 500円×12人
	交通費	¥ 6,000	モデルの交通費 500円×12人
	その他経費の合計額(F)	¥ 12,000	
合計額 (G) = (E + F)		¥ 580,020	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×925円
	カメラマン撮影	88,800 円	1 人 × 8 h × 12 回 × 925 円
	ヘアメイクモデルセットアップ	88,800 円	1 人 × 8 h × 12 回 × 925 円
	全体ディレクター	88,800 円	1 人 × 8 h × 12 回 × 925 円
	投稿準備、作業	66,600 円	2 人 × 3 h × 12 回 × 925 円
	写真レタッチ	55,500 円	1 人 × 5 h × 12 回 × 925 円
	記事編集	33,300 円	1 人 × 3 h × 12 回 × 925 円
	お店打ち合わせ	66,600 円	3 人 × 2 h × 12 回 × 925 円
	モデル打ち合わせ	33,300 円	3 人 × 1 h × 12 回 × 925 円
			人 × h × 回 × 925 円
			人 × h × 回 × 925 円
			人 × h × 回 × 925 円
			人 × h × 回 × 925 円
			人 × h × 回 × 925 円
			人 × h × 回 × 925 円
		人 × h × 回 × 925 円	
		人 × h × 回 × 925 円	
		人 × h × 回 × 925 円	
		人 × h × 回 × 925 円	
合 計 (A)	521,700 円		